



	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	148	530	0	0
事業費計		(千円)	148	530	0	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.10	0.30		
		時間外勤務 (時間)	0.00	9.25		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	706	2,058		
事業コスト		(千円)	854	2,588		

R02年度当初積算根拠						
-------------	--	--	--	--	--	--

予算の方向性	理由
--------	----

方向性		
市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	3	法令等により、市の実施が定められている。
行政が関与する必要性について		
優先度	3	他の事業に優先して進める必要がある。
事業の優先度はどうか		

# 令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報									
事務事業名	615 つくば市環境白書作成事業								
戦略プラン					担当部課 係名	生活環境部環境政策課 計画管理係			
総合戦略					新規・継続	継続			
					事業分類	任意的事務			
予算科目	01-040107-11 環境政策に要する経費				市民参加	<input type="checkbox"/> 共有、理解			
要求区分	事業期間					<input type="checkbox"/> 企画・立案、計画			
個別計画	第2次つくば市環境基本計画					<input type="checkbox"/> 実行			
						<input type="checkbox"/> 評価・検証			
根拠法令					事業体制	一部委託			
					市長公約				
概要									
事業の目的					事業の概要				
つくば市の環境の状況、環境保全に関する施策の実施状況を広く市民や事業者公表する。					・前年度のつくば市の環境に関するデータや第2次つくば市環境基本計画にある関連施策の進捗状況について、関係各課から取りまとめて作成し、製本及びホームページにて公表する。				
評価									
事業計画					活動実績				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・H30年度版「つくば市環境白書」を上半期（9月末）までに作成</li> <li>・関係部署に依頼</li> <li>・完成後にホームページで公表</li> </ul>					5月 環境基本計画実績確認 環境白書構成・デザイン検討 6月 環境白書データ作成委託契約締結 9月 環境白書データ完成、公表				
成果					課題				
環境データを公表することで、市民に対して市域の環境情報を提供することができた。					特になし				
改善目標（R02年度にむけて）									
特になし									
指標の推移									
1	指標名	( )							
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	指標の概要								
2	指標名	( )							
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	指標の概要								

	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	422	195	0	0
事業費計		(千円)	422	195	0	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.10	0.20		
		時間外勤務 (時間)	14.95	10.50		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	744	1,383		
事業コスト		(千円)	1,166	1,578		

R02年度当初積算根拠						
-------------	--	--	--	--	--	--

予算の方向性	理由
--------	----

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		



	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	69	6,996	0	0
事業費計		(千円)	69	6,996	0	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	1.00	0.80		
		時間外勤務 (時間)	90.25	78.00		
	臨時職員等	(有無)	有	有		
人件費		(千円)	7,281	5,619		
事業コスト		(千円)	7,350	12,615		

R02年度当初積算根拠						
-------------	--	--	--	--	--	--

予算の方向性	理由
--------	----

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		

# 令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報										
事務事業名	617 IS014001認証維持事業									
戦略プラン					担当部課	生活環境部環境政策課				
総合戦略					係名	計画管理係				
					新規・継続	継続				
予算科目	01-040107-13 つくば市環境改善に要する経費				事業分類	任意的事務				
要求区分		事業期間			市民参加	<input type="checkbox"/> 共有、理解 <input type="checkbox"/> 企画・立案、計画 <input type="checkbox"/> 実行 <input type="checkbox"/> 評価・検証				
個別計画										
根拠法令					事業体制	一部委託				
					市長公約					
概要										
事業の目的					事業の概要					
つくば市役所が市内事業所の一つとして「つくば市環境管理システム」を構築し、率先して環境保全活動及び事務事業に係る環境負荷を低減させることにより模範を示し、環境問題への取組を普及させる。					<ul style="list-style-type: none"> <li>環境管理システムの職員研修の実施、内部環境監査実施、外部審査による認証維持、環境管理委員会を開催し目的</li> <li>目標の進捗確認を行う。</li> </ul>					
評価										
事業計画					活動実績					
<ul style="list-style-type: none"> <li>各種研修・内部監査・マネジメントレビュー・環境管理委員会等を実施し、外部審査（更新審査）を受審してISO14001の認証を維持する。</li> </ul>					4月 IS014001推進責任者研修の実施 6月 第1回環境管理委員会 環境管理責任者、環境管理委員研修 11月 第2回環境管理委員会 1月 外部更新審査 1～2月 内部環境監査					
成果					課題					
外部審査（更新審査）を受審した結果、「向上」の評価を受けた。なお、環境に関する重大な法令違反等は発生しなかった。					特になし					
改善目標（R02年度にむけて）										
特になし										
指標の推移										
1	指標名	環境法令の逸脱					( 件 )		活動指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	指標の概要	つくば市役所でISO14001で管理の対象となっている環境法令について、逸脱がないようにする。								
2	指標名						( )			
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	3,115	2,319	0	0
事業費計		(千円)	3,115	2,319	0	0
人件費内訳	正職員	従事割合	(人)	0.20	0.30	
		時間外勤務	(時間)	28.90	70.65	
	臨時職員等	(有無)	有	無		
人件費		(千円)	1,484	2,209		
事業コスト		(千円)	4,599	4,528		

R02年度当初積算根拠						
-------------	--	--	--	--	--	--

予算の方向性	理由	
--------	----	--

方向性		
市民ニーズ	2	今後は減少すると見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	-	今年度で事業が終了する。
行政が関与する必要性について		
優先度	1	事業の継続について検討する必要がある。
事業の優先度はどうか		

# 令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報								
事務事業名	618 クリーンエネルギー機器等購入補助事業							
戦略プラン					担当部課 係名	生活環境部環境政策課 推進係		
総合戦略					新規・継続	継続		
					事業分類	任意的事務		
予算科目	01-040107-25 低炭素な街づくりの推進に要する経費			市民参加	<input type="checkbox"/> 共有、理解 <input checked="" type="checkbox"/> 企画・立案、計画 <input checked="" type="checkbox"/> 実行 <input type="checkbox"/> 評価・検証			
要求区分	一般財源	事業期間			事業体制	職員のみ		
個別計画	つくば環境スタイル“SMILe（つくば市環境モデル都市行動計画）			市長公約				
根拠法令	つくばクリーンエネルギー機器設置事業補助金及びクリーンエネルギー自動車購入補助金交付要綱							
概要								
事業の目的				事業の概要				
機器設置費用の一部を補助することでクリーンエネルギー機器を普及させ、民生部門におけるCO2排出削減を図り地球温暖化防止に寄与するため。				・クリーンエネルギー機器等の購入者を対象に、補助金を交付する。				
評価								
事業計画				活動実績				
・蓄電池、燃料電池、太陽熱温水器、電気自動車、燃料電池車の設置又は購入時に補助金を交付				補助実績 蓄電池：114件 燃料電池：98件 太陽熱温水器：0件 EV：17件 FCV：0件				
成果				課題				
クリーンエネルギー機器設置及びクリーンエネルギー自動車購入者に対し、補助金を交付したことにより普及促進に貢献することができた。				補助金について財源を確保するとともに、実状に合わせた補助制度（金額、件数等）となるよう見直しが必要である。				
改善目標（R02年度にむけて）								
茨城県の補助制度を活用することで財源を確保し、実状に合った補助制度となるよう見直しを実施することにより、適正に補助金を交付する。								
指標の推移								
1	指標名	クリーンエネルギー機器補助件数 ( 件 )					活動指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	220.0	300.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	212.0	0.0
	指標の概要	クリーンエネルギー機器(蓄電池、燃料電池、太陽熱温水器、太陽熱利用給湯器)の補助件数						
2	指標名	クリーンエネルギー自動車補助件数 ( 件 )					活動指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	45.0	21.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	17.0	0.0

	指標の概要	クリーンエネルギー自動車(電気自動車、燃料電池車)の補助件数						
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移							
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)	
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0	
	県支出金	(千円)	0	0	0	0	
	地方債	(千円)	0	0	0	0	
	その他	(千円)	42,050	10,940	15,700	0	
	一般財源	(千円)	-3,220	0	0	0	
事業費計		(千円)	38,830	10,940	15,700	0	
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.75	0.70			
		時間外勤務 (時間)	115.00	25.00			
	臨時職員等	(有無)	有	有			
人件費		(千円)	5,579	4,811			
事業コスト		(千円)	44,409	15,751			

R02年度当初積算根拠	クリーンエネルギー機器設置補助金：15,000千円 クリーンエネルギー自動車購入補助金：700千円						

予算の方向性	理由	クリーンエネルギー機器はニーズが多く、低炭素な街づくりのほか防災の観点からも有効な機器であるので、補助件数を増やすため。
拡充		

方向性		
市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		



	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	2,189	2,299	2,811	0
事業費計		(千円)	2,189	2,299	2,811	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.25	0.30		
		時間外勤務 (時間)	11.00	12.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	1,793	2,065		
事業コスト		(千円)	3,982	4,364		

R02年度当初積算根拠	電気料：37千円 施設修繕料：1,244千円 損害保険料：33千円 施設管理委託料：822千円 風力発電跡地除草業務委託料：484千円 見学会バス賃借料：141千円 エネルギーパーク協議会負担金：50千円					
-------------	--	--	--	--	--	--

予算の方向性	理由
維持	

方向性	
市民ニーズ	4 十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み	
進捗状況	4 計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか	
市の関与	2 今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について	
優先度	2 継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか	



	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	794	36,186	0	0
事業費計		(千円)	794	36,186	0	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	1.50	0.90		
		時間外勤務 (時間)	363.75	414.40		
	臨時職員等	(有無)	有	無		
人件費		(千円)	11,489	7,125		
事業コスト		(千円)	12,283	43,311		

R02年度当初積算根拠						
-------------	--	--	--	--	--	--

予算の方向性	理由
--------	----

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	3	法令等により、市の実施が定められている。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		



	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	803	8,786	0	0
事業費計		(千円)	803	8,786	0	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	1.00	1.00		
		時間外勤務 (時間)	37.05	124.00		
	臨時職員等	(有無)	有	無		
人件費		(千円)	7,149	7,089		
事業コスト		(千円)	7,952	15,875		

R02年度当初積算根拠						
-------------	--	--	--	--	--	--

予算の方向性	理由
--------	----

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	-	法令等により、市の実施が定められている。又は、今年度で事業が終了する。
事業の優先度はどうか		

# 令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報								
事務事業名	625 つくば環境スタイル行動計画における先導的施策の推進事業							
戦略プラン					担当部課 係名	生活環境部環境政策課 計画管理係		
総合戦略					新規・継続	継続		
					事業分類	任意的事務		
予算科目	01-040107-14 地球温暖化対策に要する経費				市民参加	<input type="checkbox"/> 共有、理解		
要求区分		事業期間	平成26年度～令和元年度			<input type="checkbox"/> 企画・立案、計画		
個別計画	つくば環境スタイル“SMILe（つくば市環境モデル都市行動計画）					<input type="checkbox"/> 実行		
根拠法令					事業体制	職員のみ		
					市長公約			
概要								
事業の目的				事業の概要				
つくば環境スタイル“SMILe”の実現に向けて地域エネルギーネットワークなどの先導的なビジネスモデルの開発、低炭素化技術の開発・研究、つくばの研究開発成果が排出削減に貢献している部分にクレジットを認めるような新たな制度研究など、先導・モデル的な取組を進め、つくばで具現化させる。				・つくば3Eフォーラムの研究や、企業、大学・研究機関、他自治体、国・県等との共同研究等の場での協議に加わり、組織を超えた関係者による学習、検討、研究、企画等を進めて、つくば市域への具現化を誘導する。				
評価								
事業計画				活動実績				
<ul style="list-style-type: none"> <li>先導的モデル事業を新たな地球温暖化対策実行計画策定の中で企画立案する。</li> <li>現状で筑波大学、ヤマト運輸等と共同で実施している宅配ロッカー事業について、継続して調査を進める。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>筑波大学、ヤマト運輸と宅配便の再配達抑制に関して協議を行い、宅配ロッカーの認知度調査を広報つくば8月号で実施した。その後は、両社との協議がうまくいかず、連携が取れていない。</li> <li>新たに策定した地球温暖化対策実行計画では大学・研究機関とのコミュニケーションツールの構築や省エネ効果のモニタリング結果の活用など新規事業を検討した。</li> </ul>				
成果				課題				
新たな取組として宅配便の再配達抑制事業の具体化を検討した。				先導的な事業は、ニーズやプロセスの実証から必要であり、実証された後も課題が発生することが多い。先導的な事業の成果を出すためには、あらゆる課題の克服が必要となるため、成果につながりにくいことが課題である。				
改善目標（R02年度にむけて）								
可能な限り様々な視点から、様々な事業にアプローチをする。								
指標の推移								
1	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
2	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	72	9	0	0
事業費計		(千円)	72	9	0	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.10	0.20		
		時間外勤務 (時間)	31.75	20.75		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	785	1,408		
事業コスト		(千円)	857	1,417		

R02年度当初積算根拠						
-------------	--	--	--	--	--	--

予算の方向性	理由	
--------	----	--

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	1	民間等への移管を検討する必要がある。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		



	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	76	15	81	0
事業費計		(千円)	76	15	81	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.30	0.30		
		時間外勤務 (時間)	82.50	45.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	2,323	2,146		
事業コスト		(千円)	2,399	2,161		

R02年度当初積算根拠	<ul style="list-style-type: none"> <li>講師謝礼：48千円</li> <li>筑波山ケーブルカー、ロープウェイ代：12千円</li> <li>傷害保険料：21千円</li> </ul>					
-------------	---	--	--	--	--	--

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	2	今後は減少すると見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	1	事業の継続について検討する必要がある。
事業の優先度はどうか		

# 令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報									
事務事業名	628 つくば環境フェスティバル事業								
戦略プラン					担当部課 係名	生活環境部環境政策課 推進係			
総合戦略					新規・継続	継続			
					事業分類	任意的事務			
予算科目	01-040107-15	つくば環境フェスティバル開催に要す							
要求区分		事業期間			市民参加	<input checked="" type="checkbox"/> 共有、理解 <input type="checkbox"/> 企画・立案、計画 <input type="checkbox"/> 実行 <input type="checkbox"/> 評価・検証			
個別計画						事業体制	一部委託		
根拠法令					市長公約				
概要									
事業の目的					事業の概要				
環境に配慮したライフスタイルの大切さを再認識してもらい、自ら行動する意欲を高める。					市民団体、研究機関、行政等が公開する様々な環境に関する活動について来場者に楽しみながら学んでもらうフェスティバルの企画立案及び運営を実施する。				
評価									
事業計画					活動実績				
・つくばサイエンスコラボ2019(つくば環境フェスティバル)の開催 開催予定日：11月16日、17日					8/30 出店希望者取りまとめ 9/13 広報つくば11月号 掲載依頼 10/10 出展者説明会開催 11/16、17 つくばサイエンスコラボ実施 (来場者数約17,000人)				
成果					課題				
来場した市民に対して、楽しみながら「科学」と「環境」に係る興味や関心を高めることができた。					出展団体について同じ団体となっているため、新規出展団体を増やす方法について検討が必要である。また、来場者を増加させるための企画等の検討も必要である。				
改善目標（R02年度にむけて）									
新規出展団体及び来場者の増加を目指し、企画内容等の充実を図る。									
指標の推移									
1	指標名	来場者数 ( )						成果指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	15,000.0	15,000.0	15,000.0	
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	15,000.0	17,000.0	0.0	
	指標の概要	つくばサイエンスコラボ(つくば環境フェスティバル)の来場者数							
2	指標名	( )							
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	2,848	3,340	3,668	0
事業費計		(千円)	2,848	3,340	3,668	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.25	0.30		
		時間外勤務 (時間)	142.25	140.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	2,118	2,380		
事業コスト		(千円)	4,966	5,720		

R02年度当初積算根拠	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消耗品費：247千円</li> <li>・印刷製本費：390千円</li> <li>・損害保険料：40千円</li> <li>・会場設営委託料：2,420千円</li> <li>・駐車場使用料：142千円</li> <li>・資機材賃借料：429千円</li> </ul>					
-------------	--	--	--	--	--	--

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	1	事業の継続について検討する必要がある。
事業の優先度はどうか		

# 令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報										
事務事業名	621 EV等普及促進事業									
戦略プラン	III	1	1	低炭素化の推進			担当部課 係名	生活環境部環境政策課 推進係		
総合戦略							新規・継続	継続		
							事業分類	任意的事務		
予算科目	01-040107-25 低炭素な街づくりの推進に要する経費									
要求区分		事業期間					市民参加	<input type="checkbox"/> 共有、理解 <input type="checkbox"/> 企画・立案、計画 <input checked="" type="checkbox"/> 実行 <input type="checkbox"/> 評価・検証		
個別計画	つくば環境スタイル“SMILe（つくば市環境モデル都市行動計画）								<input type="checkbox"/> 評価・検証	
根拠法令							事業体制	職員のみ		
							市長公約			
概要										
事業の目的					事業の概要					
市域における低炭素化を目的として、EV等の普及促進を図る。					・市内3か所の急速充電器の適切な管理を行い、市域におけるEVの利便性の向上を図る。					
評価										
事業計画					活動実績					
市内3箇所（つくば市役所、筑波交流センター、荃崎交流センター）の急速充電器の継続的な維持管理を実施する。					市内3箇所（つくば市役所、筑波交流センター、荃崎交流センター）の急速充電器の継続的な維持管理を実施した。急速充電器の利用件数は、6,347件であった。					
成果					課題					
急速充電器の円滑な利用を維持したことで、低炭素車（EV）使用者に利便性を提供できた。					充電器設置準加盟店契約及び急速充電サービスの運用委託が令和4年度までとなっているため、契約延長へ向けての情報収集が必要である。また、市民へのEV化推進を図るため、クリーン自動車購入補助金の財源確保が必要である。					
改善目標（R02年度にむけて）										
充電器設置準加盟店契約及び急速充電サービスの運用委託については、契約延長についての情報収集を実施する。また、急速充電器の適正な維持管理を継続するとともに、クリーン自動車購入補助金の財源確保に努める。										
指標の推移										
1	指標名	急速充電器利用件数					( 件 )		活動指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	3,600.0	6,000.0	6,200.0		
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	5,785.0	6,347.0	0.0		
	指標の概要	市内3箇所（つくば市役所、筑波交流センター、荃崎交流センター）における急速充電器の利用件数								
2	指標名						( )			
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	2,674	3,180	3,791	0
事業費計		(千円)	2,674	3,180	3,791	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.25	0.30		
		時間外勤務 (時間)	5.50	5.50		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	1,779	2,049		
事業コスト		(千円)	4,453	5,229		

R02年度当初積算根拠	<ul style="list-style-type: none"> <li>急速充電器電気料：2,319千円</li> <li>コムス修繕料：60千円</li> <li>急速充電器修繕料：110千円</li> <li>検査手数料：61千円</li> <li>火災保険料：48千円</li> <li>急速充電器保守点検委託料：483千円</li> <li>急速充電器運用事務委託料：740千円</li> </ul>
-------------	---

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		

# 令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報										
事務事業名	622 コミュニティ型低炭素モデル街区整備事業									
戦略プラン	Ⅲ	1	1	低炭素化の推進	担当部課	生活環境部環境政策課				
総合戦略	Ⅲ	1	(2)	低炭素まちづくりの推進	係名	推進係				
					新規・継続	継続				
予算科目	01-040107-25 低炭素な街づくりの推進に要する経費				事業分類	任意的事務				
要求区分				事業期間	市民参加	<input checked="" type="checkbox"/> 共有、理解 <input checked="" type="checkbox"/> 企画・立案、計画 <input checked="" type="checkbox"/> 実行 <input type="checkbox"/> 評価・検証				
個別計画	つくば環境スタイル“SMILe（つくば市環境モデル都市行動計画）					事業体制	職員のみ			
根拠法令					市長公約					
概要										
事業の目的					事業の概要					
低炭素モデル街区をつくることでまちの低炭素化を図るとともに、低炭素社会づくりを先導するため。					環境配慮型住宅の整備やHEMSを通じたエネルギーの見える化などを行う低炭素モデル街区を形成し、成果を発信することで、低炭素まちづくりの面的な普及促進を図る。					
評価										
事業計画					活動実績					
つくば市低炭素（建物・街区）認定事業を行い、低炭素ガイドラインに基づく（戸建・戸建以外）を要項に添って補助金を交付する。 低炭素（戸建レベル2）：5件、（戸建レベル3）：30件 戸建以外：3件					ガイドライン補助金交付件数 低炭素（戸建レベル2）：2件、（戸建レベル3）：38件					
成果					課題					
低炭素ガイドラインに基づく補助金を交付したことにより、低炭素住宅の普及促進に貢献することができた。					低炭素ガイドラインに基づく補助金について財源を確保するとともに、実状に合わせた補助制度（金額、件数等）となるよう見直しが必要である。					
改善目標（R02年度にむけて）										
電気的环境配慮契約に伴う差金を基金に積立てることで財源を確保し、実状に合った補助制度となるよう見直しを実施することにより、適正に補助金を交付する。										
指標の推移										
1	指標名	低炭素モデル街区の街区数					( 街区 )		活動指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	0.0	0.0	1.0	1.0	1.0	1.0		
	実績	0.0	0.0	0.0	1.0	1.0	0.0	0.0		
	指標の概要	環境配慮型住宅の整備やHEMSを通じたエネルギーの見える化などを行う街区。同一事業として行う複数区画のまとまりを1区画とし、当該目標年度に建築が開始された街区の数。								
2	指標名						( )			
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移							
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)	
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0	
	県支出金	(千円)	0	0	0	0	
	地方債	(千円)	0	0	0	0	
	その他	(千円)	14,850	15,744	28,000	0	
	一般財源	(千円)	76	0	44	0	
事業費計		(千円)	14,926	15,744	28,044	0	
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.75	0.70			
		時間外勤務 (時間)	48.00	48.00			
	臨時職員等	(有無)	無	無			
人件費		(千円)	5,413	4,868			
事業コスト		(千円)	20,339	20,612			

R02年度当初積算根拠	<ul style="list-style-type: none"> <li>・低炭素街区認定検討委員派遣手数料：44千円</li> <li>・低炭素ガイドラインに基づく認定補助金：28,000千円</li> </ul>						

予算の方向性	理由	市民のニーズが多く、より多くの市民に省エネを推進するため令和2年度は補助単価を下げ、件数を増として実施する。
拡充		

方向性		
市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		



	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	4,061	2,265	2,897	0
事業費計		(千円)	4,061	2,265	2,897	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.75	0.70		
		時間外勤務 (時間)	117.00	117.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	5,584	5,037		
事業コスト		(千円)	9,645	7,302		

R02年度当初積算根拠	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消耗品費：1,398千円</li> <li>・印刷製本費：318千円</li> <li>・郵便料：878千円</li> <li>・エコプロ見学会バス借り上げ料：118千円</li> <li>・エコポイントカードシステム機器賃借料：185千円</li> </ul>
-------------	---

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		



	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	4,480	2,270	2,149	0
事業費計		(千円)	4,480	2,270	2,149	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.75	0.70		
		時間外勤務 (時間)	142.25	140.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	5,646	5,094		
事業コスト		(千円)	10,126	7,364		

R02年度当初積算根拠	<ul style="list-style-type: none"> <li>筑波山環境教育事業 筑波山ケーブルカー、ロープウェイ代：30千円</li> <li>消耗品費：564千円</li> <li>印刷製本費：374千円</li> <li>障害保険料：30千円</li> <li>筑波山自然教育事業委託料：614千円</li> <li>筑波山自然環境教育バス賃借料：324千円</li> <li>水産多面的機能発揮対策事業：213千円</li> </ul>
-------------	--

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		